

製造設備の生産性と
信頼性を飛躍的に
向上させる稼働・製造
モニタリングシステム




【稼働モニタリング】

特長

- チョコ停の理由や製造実績を一元管理でき、分析に利用することができます
- 稼働率だけでなく設備情報をもとにしたOEE(※1)による指標管理ができます (※1) overall equipment effectivenessの略で総合設備効率
- 配線工事は不要、旧式の設備からも効率よくデータを収集することができます
- 効果を確認しながら段階的にIoT導入を進めることができます

稼働・製造モニタリング


設備の稼働状況を一目で把握するアンドン画面。現場での利用だけでなく、遠隔監視に最適です。また、設備の稼働状況をレイアウト表示するカスタムアンドンなら、物理的な設備の位置関係も表現できます。



アンドン

稼働管理

設備の稼働状況を、日次、週次、月次で管理する設備詳細画面。バーチャート、統計情報、円グラフ、タイムライングリッドなど、豊富な表現力で稼働傾向を把握することができます。



設備詳細(日報)

分析 / レポート

稼働率やOEEを最大4階層までドリルダウン表示するダッシュボード画面は、工場や製造ライン単位での指標比較にお使いいただけます。KPI詳細画面は、OEEや停止回数などの指標を部門単位でわかりやすく表示、簡単にレポート出力できます。稼働状況分類登録機能(※2)を利用すれば、パレート図などもエクセルで出力できるので、面倒な集計をせずに停止理由の分析を行うことができます。





KPI詳細 ダッシュボード 稼働レポート

(※2) スマートデバイス専用の入力画面もあります。

3Stepで設備稼働モニタリング!



step1 信号灯に送信機を取り付け受信機を設定

step2 IoT ゲートウェイを設置

step3 パソコンでブラウザを立ち上げて利用開始

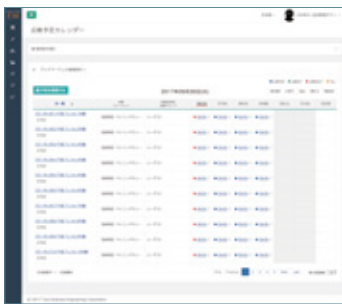
計画どおりの生産が
できるように設備の信頼性と
生産性を向上させる
設備メンテナンスシステム

〔 設備メンテナンス 〕

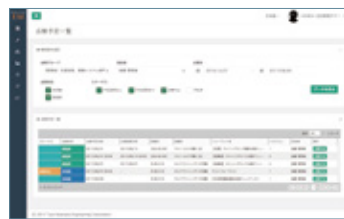
特長

- 台帳は保全業務に必要とされる管理項目を備え、設備を適切に管理
- スマートデバイスを使ってその場で入力できるため、正確な点検データを収集
- 点検や修理記録をカルテに集約し、全社で共有
- 点検や修理のデータに基づいた最適な点検スケジュールの立案を支援

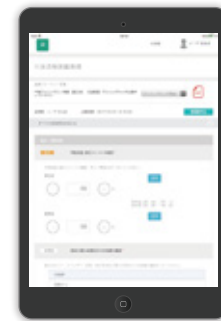
点検管理



点検予定カレンダー



点検予定一覧

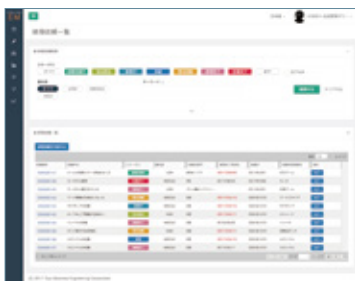


設備詳細(日報)

設備や部門単位で点検予定と実施状況を管理する点検カレンダー画面は、毎日実施する日常点検はもちろん、1年に一回実施する長期の定期点検も登録できます。備忘のためのリマインダー機能もあります。

点検の入力負担を軽減するための専用入力画面。手書き文字、写真や動画の撮影など、多様な点検登録が可能です。また、過去の故障や点検履歴に基いた点検フォーマットの改訂も簡単にできます。

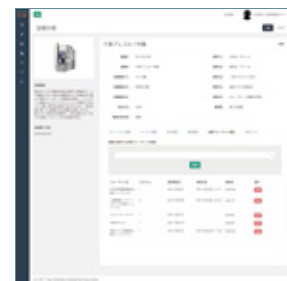
修理管理



修理一覧

修理の依頼とステータス状況把握をする修理依頼一覧。過去にあった同様のトラブルを検索し、対処方法を素早く参照。また、修理の実績に交換部品の金額や工数をインポートすれば、保全活動を費用で評価できます。

設備台帳・カルテ



設備台帳

設備台帳では、保全活動をするにあたって必要な、保全方式、ロケーション、メーカー、保守、資産などの情報を管理できます。そして、この台帳に対して点検や修理の履歴を紐づけ、設備カルテとして全社で共有できます。

※記載の製品・サービス名は、各社の商標または、登録商標です。